

【普及指導課題への反映状況等】

北部農と緑の総合事務所

- 北摂いちごの需要に応えられるよう、生産量確保に向けて引き続き、いちご生産者に対してハウス内環境データを活用した栽培管理等、生産技術向上への支援を行う。
- 生産者の会という組織力を活かし、いちごの日(1月15日)のプロモーションに加え、生産者や府のSNSの活用等、生産者の意向を踏まえたPRを継続し、北摂いちごや生産者の認知度及び販売額向上を目指す。
- 市町と連携し、いちごアカデミー修了生の意向に沿った就農支援に取り組むとともに、新たにいちごを生産する農業者への技術支援等により、いちご生産者の目標人数の確保・育成を目指す。

中部農と緑の総合事務所

- 大阪農産物魅力向上・価値創造事業により、環農水研と協力して、新たな肥培管理や保存方法による品質の向上を実証・見える化し、その結果を農業者・消費者に周知し、販売促進に務める。
- 市、農協、府で構成する八尾市農業啓発推進協議会で市長によるトップセールス、駅でのイベント販売、新たなPRグッズの作成などを行い、その中で消費者のニーズを把握し、飲食店に直接販売する「やさいパス」での販売などを検討する。
- 食味の向上については、環農総研や農政室と連携し、大阪農産物魅力向上・価値創造事業を活用して、取り組んでいく。

南河内農と緑の総合事務所

- シャインマスカットについては府内でも既に栽培面積第2位の品種となっている。販売戦略については、生産量が増える中、今後価格低下も危惧されていることから、他産地との差別化を図り有利販売ができるような取り組みが必要だと考える。このため、JA等関係機関と話し合いを深め、連携を強化し、推進する。
- 環農水研では新品種の作出に向けて従来から取り組んでおり、今後の大阪オリジナル品種の新規導入に向け、まずは「ポンタ」について生産量増加や品質向上に取り組む。また、本府の気候、生産者・消費者の条件にあった品種の選定にあたっては長期的に検討していく。
- 市場出荷・直売所販売に関わらず、品質向上を図ることが単価アップに重要であるため、引き続き栽培技術の指導を推進する。

泉州農と緑の総合事務所

- 普及指導活動成果を踏まえ、新たな担い手確保、単価向上等の課題解決に向けて、JA等との関係機関・関係団体との連携をいっそう深め、日本一のきくな産地継続をめざす。
- 引き続き、JAと連携して「水なす・きくなアカデミー」開催・修了後の支援により新規栽培者の確保を進め生産体制の構築を図る。